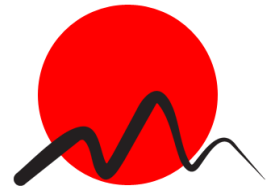


Slovenia Monthly June 2016 vol.2-no.6

スロベニア マンスリー

発行：在スロベニア日本国大使館 発行日：2016年7月7日



～6月の主なポイント～

- 政治**: 憲法裁、警察権付与に関する法改正案を合憲と判示。
スロベニア国会、モンテネグロのNATO加盟を大多数の賛成で承認。
国際仲裁裁判所、スロベニア・クロアチア国境画定仲裁裁判の審理継続を決定。
- 経済**: S&P社、スロベニア国債格付けの引き上げを発表。
スロベニア中銀、本年のGDP成長率を1.9%に据え置き、翌年は2.5%に上方修正。
- 軍事**: カティッチ国防相、NATO軍のバルト3国とポーランド配備に関し、スロベニアの参加を示唆。
- 社会**: ドイツ大手長距離バス会社がスロベニアに進出し、国際路線が運行開始。
国内で初となるジカウィルスの感染を確認、国内で感染の恐れなし。

政治

【内政】

●連立与党が年金引き上げに合意【3日】

連立与党は、年金者党(DeSUS)が強く主張していた物価スライドによる本年の年金額引き上げにつき合意した。

この年金額の調整は本年度の予算策定段階では含まれておらず、追加的な財源がどのようにまかなわれるかは依然不明確で、現代中央党(SMC)と年金者党は労働省主管業務への割り当て予算からの確保を示唆している。

●憲法裁が警察権付与に関する法改正案を合憲と判示【10日】

憲法裁は、非常事態時に軍に制限付き警察権を付与する法改正案につき、憲法に反しないとの判断を下した。同法改正案は、昨年10月に政府が発案し、本年2月26日に国会が同政府案を承認しているが、2月3日に人権オンブズマンが憲法裁に対し同法改正案の合憲性の再検討を要請していた。人権オンブズマン事務所は、集団のコントロール等に際して付与される警察権の内容が不明確であり、管理及び報告義務に関して問題があると指摘していたが、憲法

裁は本件につき警察権の内容は十分に明確であると判示した。

【外政】

●スロベニア国会がモンテネグロのNATO加盟を承認【8日】

スロベニア国会はモンテネグロのNATO加盟議定書を73対3で可決し、NATO加盟国の中で2番目にモンテネグロの加盟を承認した国となった。

ツェラル首相は、「スロベニアは常に西バルカン地域におけるNATOのオーブンドア政策を支持してきた。同国は、地域及び国際秩序に貢献し得る信頼できるパートナーと見なされ、他の西バルカン地域における加盟候補国のモデルである」と述べた。また、ヤンシャ民主党(SDS)党首も、西バルカン地域の人々が平和に暮らすためには、これらの国々がNATOに加盟することが唯一の方法であるとの考えを示した。

●ブルグレス国民議会議長のブルガリア訪問【9日・10日】

ブルグレス国会議長はブルガリアを公式訪問し、ツァチェヴァ国会議長、プレヴネリエフ大統領、ボリソフ首相と会談した。ツァチェヴァ議長との会談では、議会間協力、改革プロセス及び連立与党と野党間が妥協に至る可能性につき議論され、プレヴネリエフ

大統領及びボリスフ首相との会談では、マケドニア及びギリシャを始めとする地域情勢、難民問題及びEU拡大の必要性につき議論した。また、ブルグレス国会議長は、二国間協力も議題に上ったとし、二国間での貿易規模が比較的小さい理由はお互いに相手国のことを十分に知らないためであると述べ、一方でスロベニアはブルガリア国内で非常に尊敬されていると強調した。

●エリヤヴェツ外相のロシア訪問【14日・15日】

エリヤヴェツ外相はロシアを訪問し、ラブロフ外相との間で会談を行い、二国間関係、貿易強化、ロシアとEU及びNATOとの関係や国際情勢等について意見交換を行った。

エリヤヴェツ外相は会談後、ロシアとEU及びNATOとの関係は緊張状態にあるものの、両国の関係は良好であることを確認し、第一次大戦中に死亡したロシア人捕虜追悼100周年記念行事(7月30日の予定)にプーチン大統領が出席予定であるが、同大統領のスロベニア訪問は厳に追悼目的であることでラブロフ外相と同意したと明らかにした。

また同外相は、EUによる対ロシア制裁は、ウクライナ危機の解決も含め、期待されている効果を出せておらず、制裁は問題解決のための正しい手段ではないとし、スロベニアとロシア間の経済分野での協力については、エネルギー、環境技術、自動車、製薬及び化学工業分野で多くの潜在性がある旨述べた。

●グラバル＝キタロビッチ・クロアチア大統領の訪問【23日・24日】

グラバル＝キタロビッチ・クロアチア大統領は、スロベニア建国25周年記念行事出席のためにスロベニアを訪問し、パホル大統領及びツェラル首相との間で会談を行った。

パホル大統領は会談の中で、経済及び観光分野での協力強化の重要性を強調し、キタロビッチ大統領は、新規投資案件を含めた農業、食品、自動車、金属加工、エネルギー及びICT分野等における協力強化の可能性を指摘した。また両大統領は、二国間の未解決問題により、一般的には良好な協力関係を阻害すべきではないとの意見で一致した。

また、ツェラル首相との会談では、経済関係強化、西バルカン情勢、難民問題等について意見交換を行った。

●スロベニア・クロアチア国境画定仲裁裁判の審理継続決定【30日】

仲裁裁判所は、スロベニア・クロアチア国境画定仲裁裁判について、スロベニアは仲裁裁判協定に違反したとしつつも、クロアチアが仲裁裁判協定から撤退するために十分に深刻な理由にはあたらないとして、審理の継続を決定した。

これを受け、ツェラル首相は、スロベニアは最終的な判決を尊重し、クロアチア側も同様の態度を示すことを望むとし、国境画定問題における最終的かつ拘束力のある判決が下されると確信している旨述べた。またエリヤヴェツ外相は、仲裁裁判所の最終判決は両国を拘束し、スロベニアは判決の内容が自国に好ましいものであるか否かにかかわらず同判決を尊重する旨述べた。

スロベニアに迫る！②

南リュベリ強制収容所解放71周年を記念する木本晴二氏による展覧会

9日、南リュベリ(Ljubelj)強制収容所解放71周年を記念する木本晴二氏による展覧会「Power and Powerless」のオープニング式典がスロベニア北西部トウルジッチ(Trziš)市で開催されました。本展覧会はトウルジッチ美術館とトウルジッチ市の共催で7月9日まで開催されています。

木本氏はドイツを拠点に活躍する彫刻家で、人間の存在や自由と束縛をテーマに、力の濫用と苦痛に焦点をあてており、今回の展示会の12作品はヨーロッパの強制収容所の被害者に向けて創作されています。

南リュベリ強制収容所は1943年6月3日にドイツ軍によって建設され、収容者はリュベリを通過するトンネル建設のために働かされました。同強制収容所にはフランス、ポーランド、ユーゴスラビアなど多くの国々から1800人以上が収容されました。1542メートルのトンネルを建設した8ヶ月間で40人が亡くなり、生き残った収容者も完成後に別の収容所に移送され多くの者が殺されました。その後南リュベリ強制収容所は1945年5月7日に解放されました。



(オープニング式典に参加する木本氏(右))



(木本晴二氏の作品)

経済

【マクロ経済・統計】

●スロベニア中央銀行の経済観測【7日】

スロベニア中央銀行は最新の経済予測を発表し、本年のGDP成長率を前回の秋期予測と同様1.9%とし、2016年度の成長率を前回予測より0.3%引き上げて2.5%となると予測した。発表の中で、経済成長は過去2年と比較して穏やかなペースとなるものの依然として継続し、今後国際経済市場の改善を受けての外需の拡大が予測され、その結果輸出の堅実な成長が期待されるとした。また、労働市場の指標の改善を受けて、個人消費が徐々に増加して最も重要な経済成長の要因となるとし、個人投資の回復につながると指摘した。

●S&P社によるスロベニア国債格付けの引き上げ【17日】

大手格付け会社スタンダード・プアーズ(S&P)社は、スロベニア長期国債の格付けを「A-」から「A」に、短期国債の格付けを「A-2」から「A-1」に引き上げると発表した。一方で、国債格付け見直しについては、依然として高い公的債務、国営企業が経済に占める役割の大きさ及び国外の新たな不安定要素を理由に「安定的」に据え置いた。

同社は、スロベニアの累積公的債務が2019年までに対GDP比約74%まで減少すると予測したが、労働組合による反対や難民危機対策費用等の増加をリスクとして指摘した。

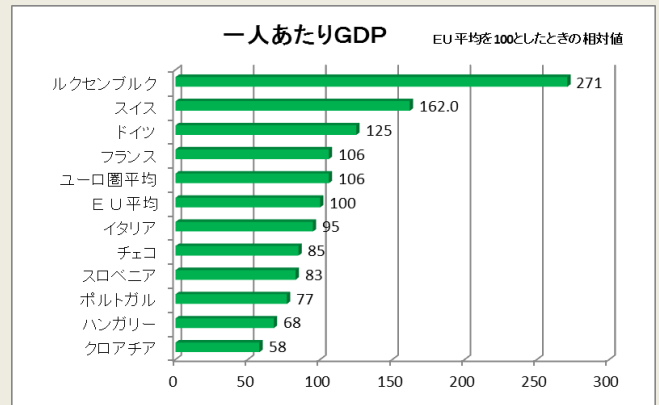
ムラモル財相は、高い国債格付けは金融市場へのアクセスを容易にし、借り入れ費用を削減できるため、国家や公共部門のみならずビジネスにとっても影響を与えると述べた。

スロベニアに迫る！⑳

2015年スロベニアの一人あたりGDP

スロベニア統計局は、2015年の一人あたりGDP(購買力平価)を発表し、EU平均を100とした場合、スロベニアは前年とかわらず83%でした。スロベニアはチェコ(85)、マルタ(89)を下回り、キプロス(81)、スロバキア(77)及びポルトガル(77)を上回りました。ちなみに2015年のスロベニアの一人あたりGDPは1万8680ユーロを記録しています。

主要な国の統計は以下の通りです。



【金融・企業関係】

●ポチヴァルシェク経済相のクロアチア訪問【3日】

ポチヴァルシェク経済開発・技術大臣は、クロアチアを訪問し、クリマン・クロアチア観光大臣と第3国における共同の観光客誘致に向けた協力等について意見交換を行った。両国は2010年から現在まで、「Feel Slovenia-Experience Croatia」というスローガンの下で、中国、日本、韓国で共同プロモーションを行っており、今後、米、カナダで同様の活動を実施する予定となっている。

●スロベニア乳製品会社4社による中国への輸出ライセンス取得【10日】

農産品食品企業会議所は、スロベニア乳製品会社4社が、中国への輸出ライセンスを取得したと発表した。これらの乳製品会社は、殺菌乳、チーズ・スプレッド、その他の付加価値の高い製品の輸出を目指している。同会議所によれば、スロベニア及びEUにおける乳製品の市場は飽和状態にあり、中国への輸出許可はスロベニアの乳製品業界にとって大きなチャンスであるとの考えを示した。

軍事

●カティッチ国防相のレバノン訪問【8日】

カティッチ国防相はレバノンを訪問し、国連レバノン暫定駐留軍 UNIFIL ミッションに参加しているスロベニア軍を激励した。同大臣は、レバノンの治安状況について、シリア及びパレスチナからの1600万人の難民が大きな課題で、他国からの支援を必要としており、国際社会はレバノンへの支援を継続すべきである旨述べた。

●カティッチ国防相のNATO国防相会合出席【14日】

カティッチ国防相は、NATO国防相会合において加盟国がバルト3国とポーランドに4つの部隊を配備することで合意したことを受けて、連帯の精神に則りスロベニアは本合意を支持し、将来的に本案に参加していく旨述べた。同大臣は、スロベニアが参加する可能性がある分野として軍事警察、化学兵器及び生物兵器対策、インテリジェンス、ヘリコプターによる支援等をあげたものの、具体的な貢献内容や規模について述べるには時期尚早であるとした。

社会・文化・スポーツ

●ドイツ大手長距離バス会社がスロベニアに進出【7日】

ドイツ大手長距離バス会社フリックスバス(FlixBus)社がスロベニア進出を発表した。同社は19か国で長距離バスを運行しており、この度スロベニア6都市(リュブリャナ、マリボル、ブレッド、ポストイナ、コペル、ポルトローシュ)とドイツ、オーストリア、イタリア、クロアチアの35都市を結ぶ路線を開設し、一部は6月より運行を開始する。

●スロベニア国内で初となるジカウィルスの感染を確認【9日】

リュブリャナ大学病院は、スロベニア国内で初となるジカウィルスの感染を確認したと発表した。患者は南米滞在中に同ウイルスに感染したと見られている。

国立保健機関は、35名を検査したところ1名で陽性反応が出たとし、国内で感染の恐れはないとしている。同機関は、先週リオオリンピック観戦のためブラジルに渡航予定の旅行者に対する勧告を発出し、妊娠中の女性や近く子供を生むことを考えている女性は渡航を控えるよう勧告している。

●OECD成人力調査の発表【28日】

OECDは2016年の成人力調査の結果を発表し、スロベニアはOECDとEU加盟国等を含む35カ国中、読解力は29位、数的思考力は22位、ITを活用した問題解決能力は24位となりOECD諸国の平均を下回った。他方、仕事上のスキル習熟度は非常に高く、多くの労働者は自らの職業によく適合していることが明らかとなった。

読解力及び数的思考力の首位は日本、ITを活用した問題解決能力の首位はニュージーランドとなり、その他オランダや北欧諸国が全分野で上位を占めた。

発見！スロベニア

リュブリャナ国際ワインコンクール

17日～19日にかけて、今年で58回目となるリュブリャナ国際ワインコンクールが開催され、21カ国から412銘柄のワインが出品されました。

本年のコンクールでは、メルシャン株式会社の「シャトー・メルシャン 北信シャルドネ2014」他同社ワイン4銘柄が日本で唯一金賞を獲得しました。

リュブリャナ国際ワインコンクールは、1926年にリュブリャナ市でスロベニアワインの展示会と試飲を行ったことを契機として、1955年に第1回となる国際コンクールが開催され、同年より国際ブドウ・ワイン機構(OIV)が後援する権威あるコンクールです。1980年には国際ワイン学者連盟(UIO)の後援を得て、1984年にワイン・スピリッツ国際コンクール世界連盟(VinoFed)が設立されると、リュブリャナ国際ワインコンクール運営団体は本連盟の最初の議長となり、永久会員の資格が与えられました。

リュブリャナ国際ワインコンクールは、OIV、UIO、VinoFedのワイン品評を行う国際団体3つすべてに関連を持つコンクールとして、世界のコンクールのモデルとなっています。



(写真：リュブリャナ国際ワインコンクール)

スロベニアでの茶道・華道文化の広がり

● 裏千家・千玄室大宗匠のスロベニアご訪問

6月26日、リュブリャナ市内グランド・ホテル・ユニオンにて、裏千家・千玄室大宗匠をお招きして茶道行事「日本国伝統文化・茶道のつどい」が行われ、約350名が参加しました。式典では、厳粛な雰囲気の中、大宗匠による日・スロベニア間の友好関係と世界平和を祈念する献茶式、日本とスロベニアの代表者が大宗匠の点てられたお濃茶を飲み回す和合の茶会が行われました。



(お茶の説明に熱心に耳を傾ける両議長
写真:スロベニア国民議会)



(和合の茶会の様子)

続いて大宗匠による茶道の和敬清寂の心と世界平和に関するご講演と淡交会スロベニア協会による茶道デモンストレーションが行われ、参加者は茶道の歴史や精神に関する話に熱心に耳を傾け、舞台上の茶道の実演に見入っていました。式典後には着物に身を包んだ裏千家淡交会の会員により、全員にお菓子と抹茶が振る舞われ、参加者は和やかな雰囲気の中で抹茶を味わい楽しんでいました。

また、式典後に淡交会スロベニア協会の発会式が行われ、シュカファル同協会会長(前スロベニア民俗学博物館館長)に認証書が授与されました。



(呈茶をされる千玄室大宗匠)

27日、千玄室大宗匠はブルグレス国民議会(下院)議長とベルヴァル国民評議会(上院)議長を表敬訪問し、両議長への呈茶と茶道の精神に関する説明の後、両議長による茶道体験が行われました。

● 池坊華道デモンストレーションの開催

6月28日、コペル市内にて、尺八とビオラのコンサート及び池坊華道デモンストレーションが開催されました。尺八奏者・田嶋直士氏とビオラ奏者・岩木保道氏によるコンサートでは、伝統的な尺八本曲のほか、作曲家・前田智子氏を迎えて同氏作曲の尺八とビオラのための曲「阿頼耶(アラヤ)」が演奏され、来場者は尺八とビオラが織りなす和洋が融合した音色に聴き入っていました。



(尺八とビオラのコンサート)

池坊華道デモンストレーションでは、池坊華督・目崎真弓氏と華道スロベニア協会会長・ミロスラウ・ガヴラン氏が、池坊の伝統的様式から現代様式まで6種類のスタイルを紹介しながら生け花の実演を行いました。花屋で手に入るもののほか、道路沿いや野原で見つけられる素材を用いて、池坊華道の精神にも触れながら、気軽に生け花が楽しめることを来場者に伝えました。



(目崎氏とガヴラン氏による華道デモンストレーション)

在スロベニア日本国大使館

電話: +386-1-200-8281 又は 8282、Fax: +386-1-251-1822、Email: info@s2.mofa.go.jp

Web: http://www.si.emb-japan.go.jp/website_jp/index_j.html

●スロベニアに90日以上滞在される方は、大使館に在留届を提出願います。

●本資料は、スロベニアに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。新たに配信を希望される方、あるいは今後配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

info@s2.mofa.go.jp

★在スロベニア日本国大使館のフェイスブックが出来ました！

当館のフェイスブックでは、スロベニアにおける日本の外交活動、文化行事のお知らせやレポート、スロベニア事情等の情報を随時発信しております。「いいね！」ボタンで当ページのフォローをよろしくお願いします。

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia>

【文化行事のお知らせ】

●日本映画上映「龍三と七人の子分たち」

リュブリャナ市内のキノ・ドゥヴォルにて北野武監督の最新作「龍三と七人の子分たち」が上映されます。

日時: 7月4日～7月13日 上映時間は日により異なります。

上映スケジュール: <http://www.kinodvor.org/en/programme/this-month/>

場所: キノ・ドゥヴォル (Kinodvor 住所: Kolodvorska 13、Ljubljana)

有料 (大人5. 3ユーロ、子供4. 5ユーロ)

●ジャズ・コンサート「Igor Lumpert and Invisible Town」

バルセロナ在住の邦人ベーシスト・釜口雅敏氏を迎え、スロベニア人サクソ奏者とチェコ人トロンボーン奏者によるトリオのジャズ・コンサートが開催されます。

日時: 7月8日 (金) 20:30～

場所: Stari trg、Ljubljana (野外特設ステージ)

入場無料

●和食とスロベニア・ワインの夕べ「East coming to the West」

ノヴァ・ゴリツァのワインショップ Vinoteka Solumにて、リュブリャナで寿司などの和食を提供している「のんびり (Nonbiri)」のエルネスト氏を迎え、寿司等の和食と同地方のワインを楽しむ行事が開催されます。席に限りがありますので、ご予約はお早めに。

日時: 7月21日 (木) 20:00～

場所: Vinoteka Solum (住所: Bevkov trg 6、Nova Gorica)

お一人様40ユーロ

要予約 (7月19日まで): 05-998-2087 もしくは vinotekasolum@siol.net まで

●日本の午後「Japonsko popoldne v Logatcu」

今年で3回目を迎える同行事では、日本の武道をはじめ、折り紙、着物、寿司や日本茶などの和食、書道等、様々な日本文化を紹介します。

日時: 9月4日 (日) 13:00～ (予定)

場所: ロガテツ・スポーツホール (Športna dvorana 住所: Šolska pot 4a、Logatec)

入場無料

【領事からのお知らせ】

●「たびレジ」に簡易登録機能がつきました！

たびレジとは、いざという時、在外公館などから緊急時情報提供を受けられる外務省の海外旅行登録システムです。

この度このたびレジに簡易登録機能がつきました。メールアドレスと対象国・地域だけを登録することで、実際の渡航の有無やその旅行期間に縛られることなく、継続的に領事メール及び最新海外安全情報メールを受け取ることが可能となります。(ただし、緊急時の安否確認の対象とはなりません。)

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>